



前特だより

前橋市立
前橋特別支援学校

第 4 号
2019. 7. 1



いよいよ7月。1学期も残すところ3週間となりました。梅雨のうつつうしさとともに、日に日に暑さも厳しくなってきましたので、ともに体調管理に努め、元気よく1学期の終業式を迎えましょう。

さて、6月は、中学部の林間学校、小学部5年生の宿泊学習と宿泊を伴う行事を実施いたしました。通常の学校生活とはひと味違う様々な体験を通して、子供たちは、またひとまわり大きく成長できたのではないかと信じています。保護者の皆様には、持ち物の準備等、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

学習参観、お世話になりました

6月14日(金)の学習参観日には、たくさんの方の保護者の皆様にお越しいただきましてありがとうございました。4月の学習参観日の時と比べ、子供たちが落ち着いて学習に取り組んでいる様子を見ていただけたのではないのでしょうか。

この日は学校見学日も兼ねておりましたので、40名ほどの方々が、本校の見学にお見えになりました。見学された方々から、ご感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

見学に来られた方々のご感想から(抜粋)

- ・校舎がきれいで素晴らしいと思いました。
- ・児童・生徒さんがみんな楽しそうでした。入学させていただけたら本当にいいなと思いました。
- ・同一学年だけでなく、複数年年一緒なのが、心強いと感じた。
- ・異学年との合同クラスで、別の学年の児童から学ぶ要素が多いと感じました。
- ・グラウンドでの体操や走る姿から、一人一人の生き生きとした顔が印象的だった。
- ・1グループの先生の数が多く、安心できます。

ドレミ交流

今年度も、小学部児童と桃木小3年生の児童が「ドレミの時間」に一緒に校庭を走ったり、体操をしたり、交流活動を行いました。両校の子供たちにとって意義のある活動となることを期待し、ずっと続けています。



～桃木小学校 笠井洋志校長先生から～

お忙しい中、貴重な時間をとっていただきありがとうございました。交流学習から帰ってきてからの子供たちの書いた感想文を読むと、「友達が、とても元気よく体操をしていたので、自分も元気になった。」「相手をよく見ると、言いたいことが目や口などの動きからわかる気がした。」「友達のことを考えて行動しているうちに、何となく自分がやさしくなってきた気がした。」などと書いている感想文がたくさん見られました。

前橋特別支援学校の子供たちとの一時間ほどの交流でしたが、桃木小の3年生の子供たちは、元気をもらったり、相手の気持ちになって聞いたり行動したりすることの大切さを学んだり、優しい気持ちになれたりしたようです。本当に価値ある体験をさせていただきました。これからも、ぜひこの交流学習を続けてさせていただければと思います。

学校評議員の皆さんです



左から、原澤正光さん(元校長)、霜田浩信さん(群大教授)、中山さち江さん(元PTA会長)、山本知子さん(社会福祉法人理事長)、大井友夏さん(PTA会長)です。年に2回(6月・2月)学校評議員会を開催し、本校の教育活動について、それぞれのお立場からのご意見、ご助言等をいただき、学校運営に生かしていきます。

毎週日曜日13:00 放送中
再放送 毎週月曜日 21:00
毎週火曜日 15:35
毎週水曜日 19:30
15分番組
84.5 FM WOVE

児童生徒参加型ラジオ番組
まえばし
スクール通信

学校紹介
学校の行事
校長先生インタビュー
校歌合唱

前橋市立
前橋特別支援学校
2019年
7月7日
FM WOVE 84.5MHz

7月7日(日)ラジオ放送(まえばしCITYエフエム)で、本校を紹介いたします。ぜひ、お聴きください。

